

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード	Ⅲ-1-(2)
長期総合計画頁	115

政策体系	施策名	いじめ・不登校対策の強化	所管部局名	教育庁
	政策名	教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成	関係部局名	教育庁

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	生徒指導体制・教育相談体制の充実	関係機関と連携した支援の充実

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	いじめの解消率(%)	小学校	①②	H22	73.4	74.7	74.7	100.0%	76	80					
		中学校	①②	H22	66.4	69.1	72	104.2%	71.8	80					
ii	不登校児童生徒の学校復帰率(%)	小学校	①②	H22	34.9	37.9	45.4	119.8%	40.9	50					
		中学校	①②	H22	31.8	35.4	29.4	83.1%	39.1	50					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 学期毎のいじめアンケートにより、発見しにくい些細ないじめも早期に発見し、早期に対応する学校体制がとられるようになったことや、いじめの解決に向けて、教職員の意識や解決スキルも向上した結果、目標値を達成した。	達成
ii	達成 スクールカウンセラーを中心とした教育相談及び支援体制が整備された結果、目標値を達成した。しかし、中学校では、深刻な問題を抱える不登校生徒が多く、学校復帰の困難なケースもあるため、目標値を達成できなかった。今後は、中学校における不登校出現数の抑制や不登校生徒への支援体制をさらに充実させる。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・スーパーバイザーを16郡市に配置したことにより、地域のスクールカウンセラーへの助言指導ができ、スクールカウンセラーの資質向上が図られた。
②	・引きこもりが長びく児童生徒への対応について、関係機関（医療機関等）と支援会議を立ち上げることによって、一層の連携強化を図ることができた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 いじめ・不登校対策事業	現状維持	228	134,503
	2 おおいたっ子心の交流推進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	—	4,044

#### 【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①、②の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ・不登校等の問題行動の解決に向けた学校と相談機関との連携を強化するため、市町村におけるスクールソーシャルワーカー制度の充実</li> <li>・ソーシャルネットワークサービス等非出会い系サイトを利用した児童生徒のネットトラブル防止の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における不登校の出現数の抑制と不登校生徒の学校復帰を図る支援体制のさらなる充実</li> </ul>

#### 【VII. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.7)</p> <p>・学校的な役割を果たす施設等に、不登校の児童生徒を登校させる取組が必要。</p>	
--	--

#### 【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の福祉部門と連携した児童生徒支援を図る。</li> <li>・高校生を対象とした情報モラル講座、保護者や教職員への啓発を目的としたネットパトロールを県下6市で開催し、ネットトラブル防止を図る。</li> <li>・16郡市に配置したスーパーバイザーの訪問回数を増やし、市町村の教育支援センター等と連携した学校相談体制の充実を図る。</li> </ul>